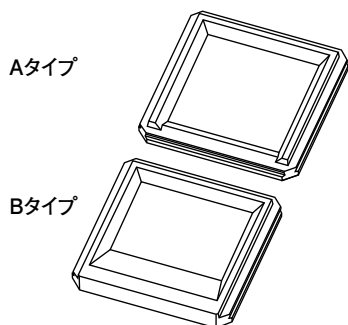


E.Cブロック



細かな手間を省き、省資源を図る 法面保護工法

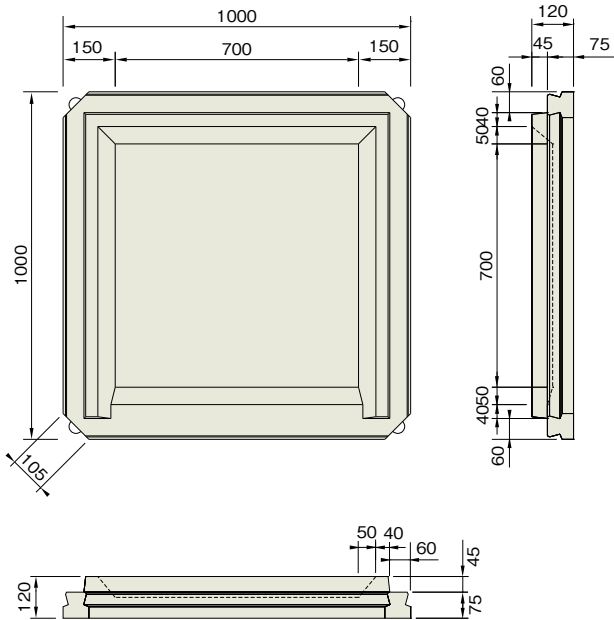
特長

- 1 E.Cブロックの名称はCover for Earth Slopesの頭文字をとったもので、法覆ブロックとも呼ばれています。
- 2 E.Cブロックは、法枠間詰工法を一工程で完了させる事により、従来の法枠工法上での、コンクリート間詰、栗石間詰、岩座間詰等の二次工程が省略できます。
- 3 E.Cブロックは、間詰が不要である事により、間詰の栗石等の自然資源が不要となり省資源工法と言えます。
- 4 E.Cブロックは、土中水や降雨水を各合端面の水路を流下させる事により、法表面の汚色化を防止できます。
- 5 E.Cブロックは、ブロック表面の凹凸勾配に工夫がされている事により、枯葉や土砂の沈積がなく、美観上にも優れています。
- 6 E.Cブロックは、簡易重機使用で施工性がよく、省力化工法である事は勿論、法面火災の防止にも役立っております。
- 7 E.Cブロックは、間詰部分と共に一体である事により、間詰材の沈下や、はらみ出しが一切なく、結束線で緊結されている事により、法面全体が一体化し、法面崩落、崩壊を完全に防止します。

寸法図

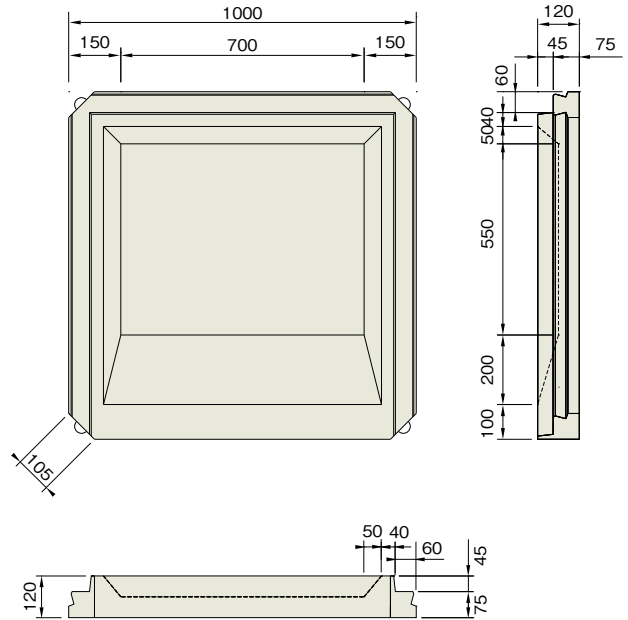
Aタイプ

参考重量 170 kg



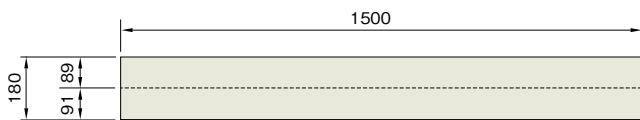
Bタイプ

参考重量 190 kg

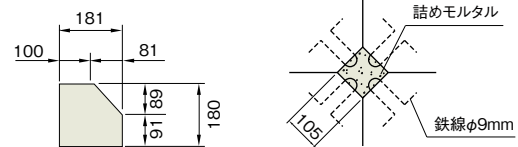


基礎ブロック

参考重量 103 kg



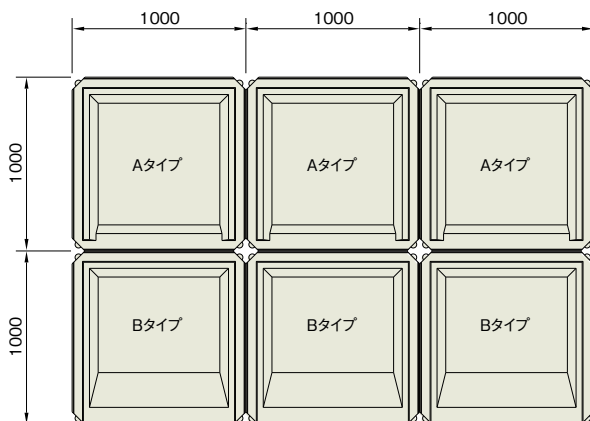
連結部詳細図



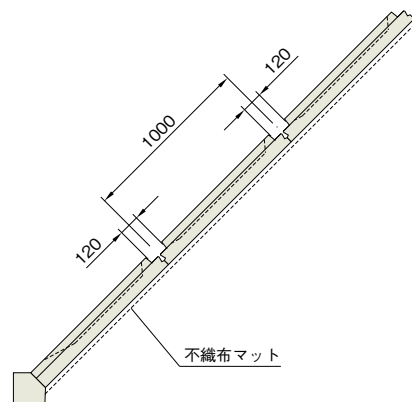
* 連結は図の様に本体各角より出ている鉄線部分に詰めモルタルを充てんします。

施工図

正面図



断面図



施工手順

1 法面成形 ▶ 2 基礎工 ▶ 3 マット布設 ▶ 4 据付工 ▶ 5 連結工 ▶ 6 完成

法面土羽を所定の勾配に成形します。

基礎ブロックを丁張り通り据付固定さす。(但し、基礎を現場打ちする場合には、基礎ブロックは除いて差しつかえありません。)

整正された法面に土粒子止めとして不織布マットを布敷きします。

マットの上にE.Cブロックをトラッククレーン等の重機で据付けます。

E.Cブロックの各隅(結束線の出ている所)に詰めモルタルを充てんします。

(注) 土中水の多い現場には、特に排水孔の御指示を下さい。

参考歩掛

(例) 法勾配1:1.0、法長=2m、施工面積=100m²当り

| 工種 | 名称 | 規格 | 単位 | 数量 |
|-----|--------------|---------|----|------|
| 本体工 | Aタイプ | | 個 | 50 |
| | Bタイプ | | 個 | 50 |
| | 基礎ブロック | | 個 | 34 |
| 据付工 | 世話役 | | 人 | 1.0 |
| | ブロック工 | | 人 | 2.0 |
| | 特殊作業員 | | 人 | 1.0 |
| | 普通作業員 | | 人 | 2.0 |
| | ラフテレーンクレーン運転 | 油圧式25t吊 | 日 | 1.0 |
| | 諸雑費 | | % | 26.0 |

注)1 ラフテレーンクレーンの運転は、コンクリートブロック等の吊上げ・吊下げ作業を含みます。

注)2 ラフテレーンクレーンの運転は、賃料とします。なお現場条件等により、25t吊で施工が不可能な場合は、別途選定して下さい。

注)3 運搬距離25m程度の小運搬を含みます。

注)4 連結金具の組立歩掛を含みます。

注)5 国土交通省土木工事積算基準(平成25年度版)参照



取扱地域 北海道 東北 関東 中部 北陸 近畿 中国 四国 九州 沖縄

カルバート・
下水道

擁壁・
法面保護工

道路

高速道路

水路関連

河川・海洋・
環境

貯留・
防災システム

通信関連

建築・宅造

特殊工法・
新素材

参考資料

施工例

